

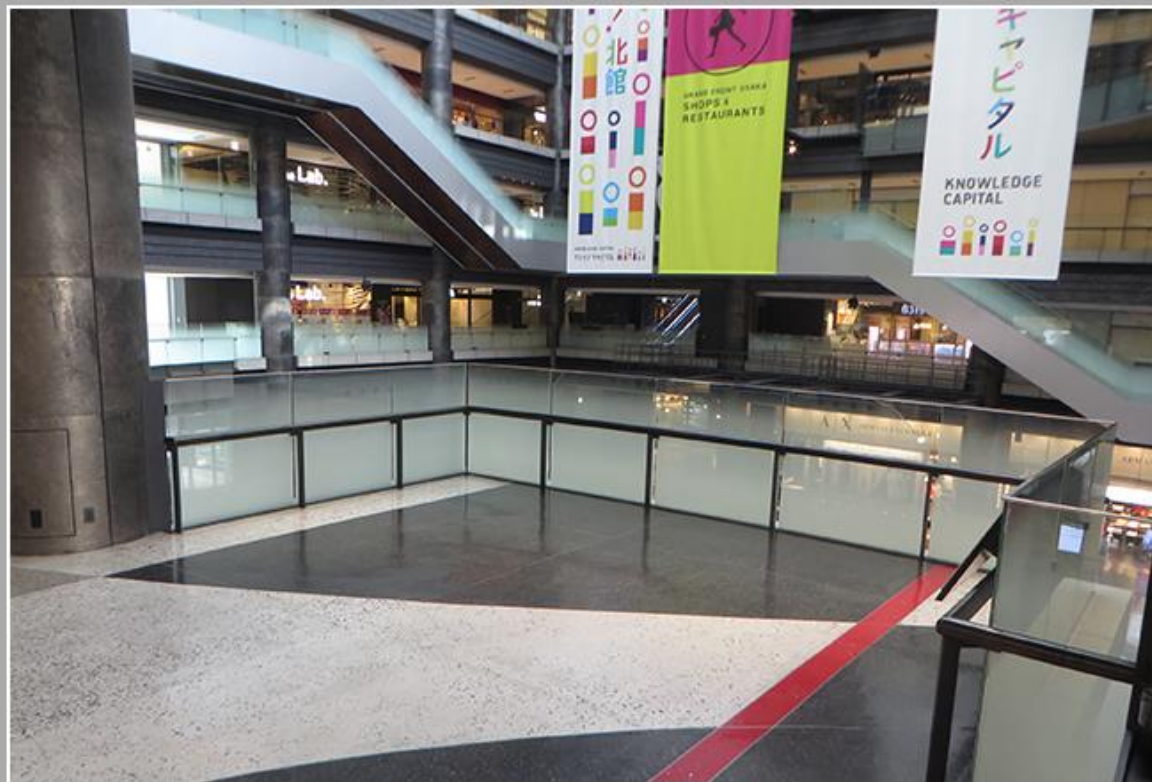
大阪治験啓発イベント みんなの治験「縁」日（仮）

大阪治験啓発イベント みんなの治験「縁」日 | ワンページサマリー

イベントの名称	大阪治験啓発イベント みんなの治験「縁」日（仮）
主催者	・ 大阪大学医学部附属病院 ・ 大阪府 ・ 治験ネットおおさか ・ R&D HeadClub（国内製薬会社23社による業界団体） ・ その他医療機関、団体
開催日時	2026年10月4日（日曜日）10時～16時（予定）
場所	グランフロント大阪北館2F-1、2F-2イベントスペース ナレッジシアター（グランフロント大阪内） 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館内 ナレッジシアター ナレッジキャピタル（グランフロント大阪内）
イベントの開催目的	府民の治験に対する理解を深める

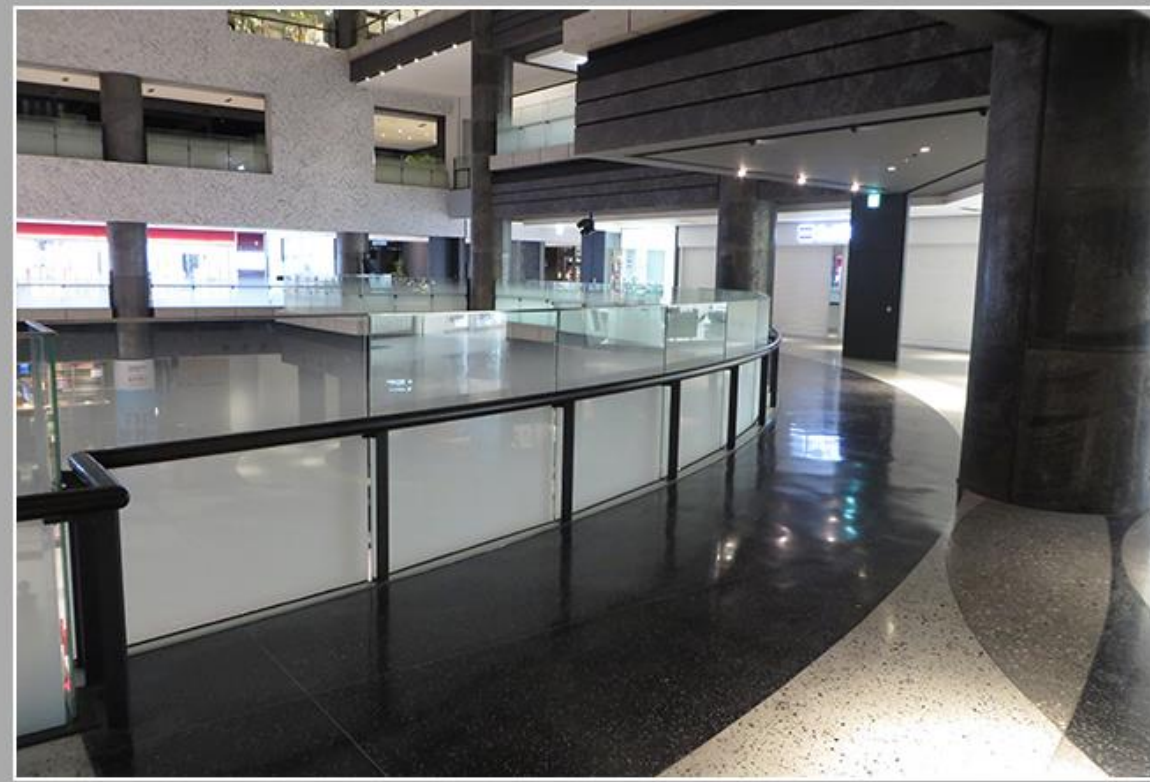
グランフロント大阪 北館 2Fイベントスペース（終日利用：10～16時）

北館 2F-1 イベントスペース



動画閲覧、治験への思いを記載する掲示版、製薬企業、各種団体等にある治験啓発資料などを配布、説明するイメージ

北館 2F-2 イベントスペース



ミニワークショップや治験に関する説明会などをするイメージ

グランフロント大阪 北館 4F ナレッジシアター（午後利用：13～16時）



トークショー、講演会などを行うイメージ

コンテンツ・しかけ

② 誘引ゾーン (2-1)

ビデオや写メッセなどの立ち寄れるようなコンテンツを配置して、人の目を引く。このあとのコンテンツを見てみたいと思わせるようなものを置く。

③ 体験ゾーン (2-2)

参加型体験ゾーン
治験に関するすごろくや治験に関する対話を出来るテーブル、治験に関するマンガや啓発資材などを設置して、治験を学べるようなものにする

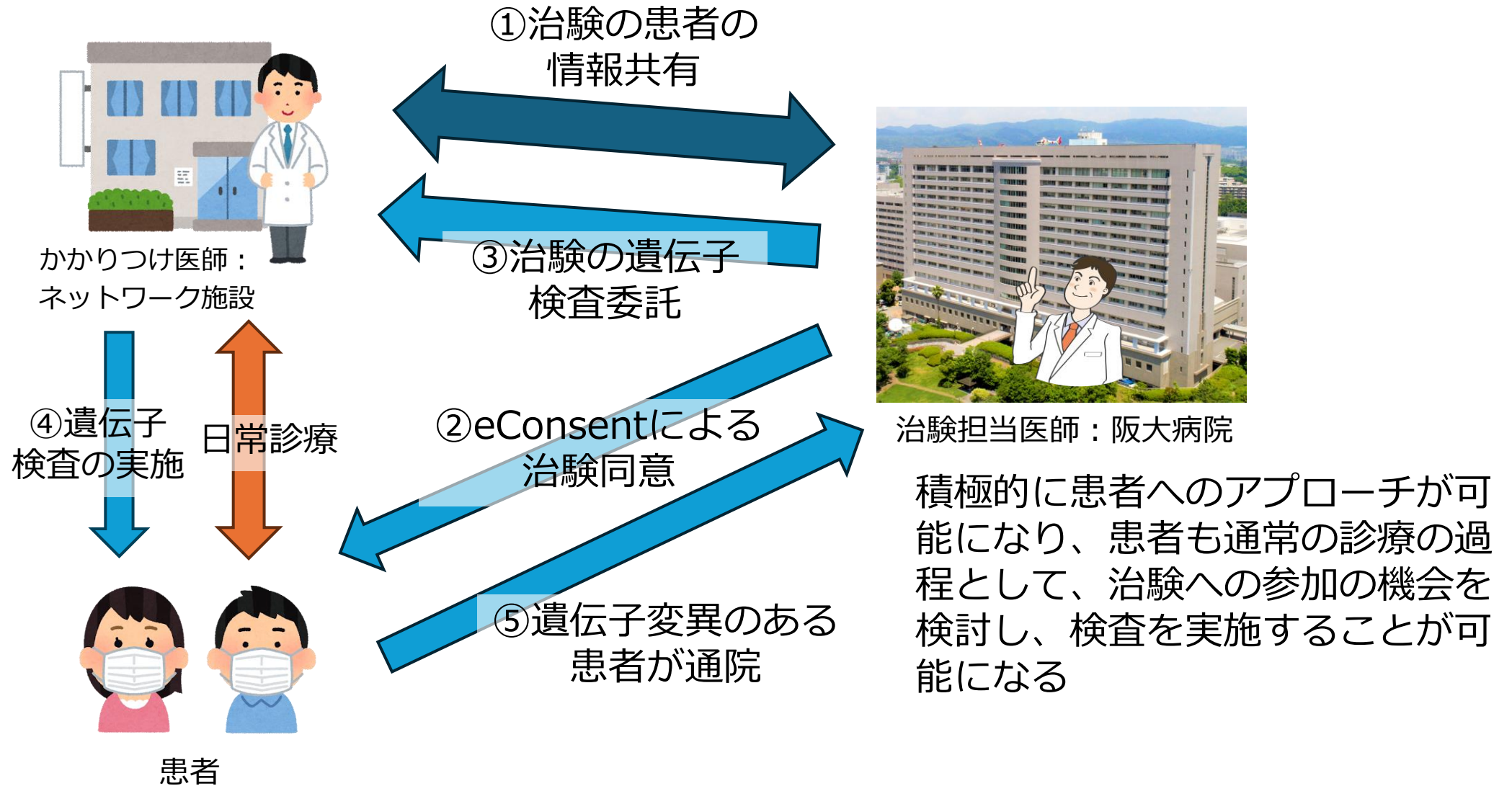
④ ナレッジシアター

トークショー：治験に関する経験談などを語ってもらう

中高生がつくる未来の臨床試験会議と題して、中高生に治験を語ってもらう

DCTの取り組み

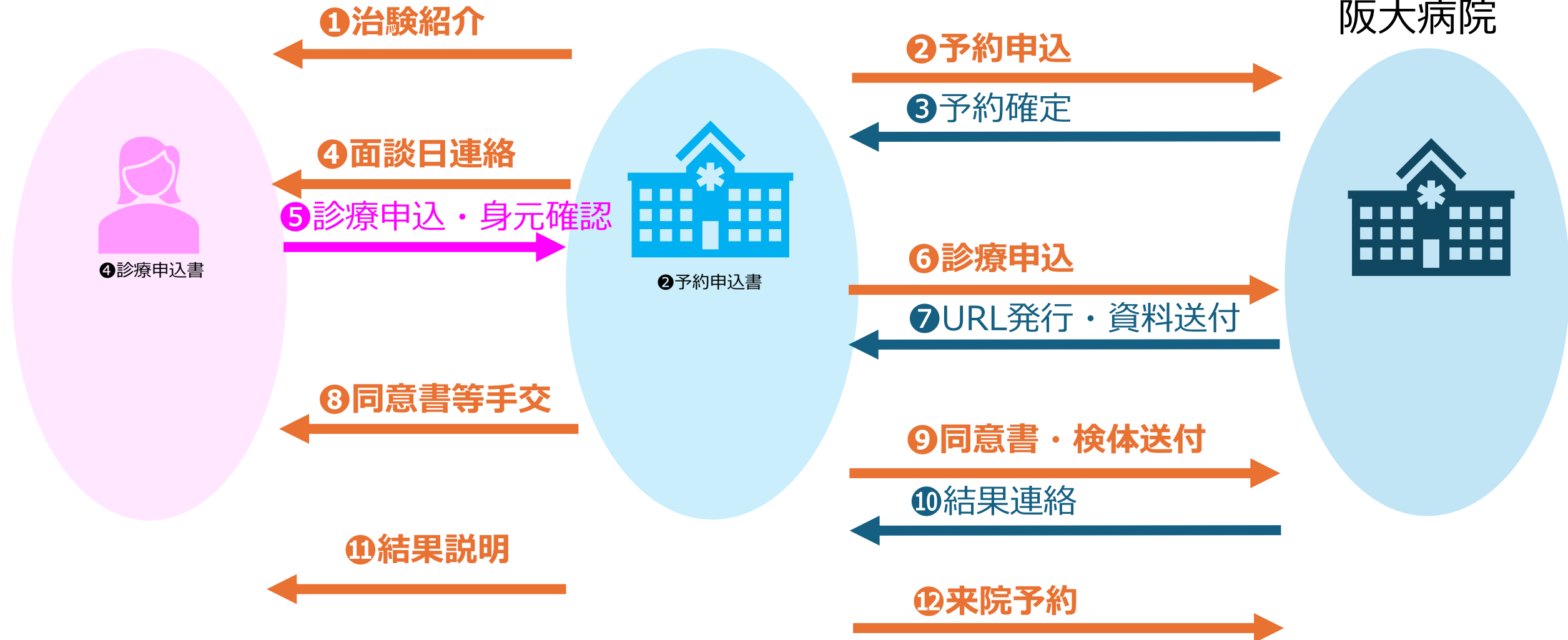
DCT手法を活用した乳がん患者への治験紹介の試み



患者さん紹介の流れ

パートナー医療機関

阪大病院



オンライン面談における同意取得プロセス

パートナー医療機関



阪大病院



《当日準備するもの》

- ☐ 通信の安定した個室
- ☐ カメラ付きパソコン
- ☐ 会議URL
- ☐ 同意説明用資料
 - ☐ 治験説明文書
 - ☐ 同意文書 一体型
 - ☐ オンライン説明文書
 - ☐ 補償の概要
 - ☐ 治験参加カード

オンライン面談開始

相互に自己紹介、本人確認

オンライン説明文書で合意

治験説明

質疑応答

意思確認

《参加希望》

同意文書に署名
画面越しに見せ合う
チェックボックスに✓
双方確認：同意成立

《保留》

後日、意思確認

《不参加》

オンライン面談終了

R&D HeadClubを交えた対談

2026/7/31

治験ネットワーク × パートナー医療機関で、府内の症例集積を動かす

大阪府の治験環境整備の延長線上に、府内の先生方の患者紹介を実装としてつなぐ対談企画

対談の座組

ホスト

治験ネットおおさか

主催・ホスト。パートナー医療機関活用と紹介スキームの実装主体。

共同ホスト

R&DHC

製薬企業側の声を代表。日本の症例集積の現在地と国の動きを提示。

共同ホスト

大阪府薬務課

行政として治験環境整備にコミット。

対談アジェンダ案

- ① 大阪府の治験環境整備の取り組み
- ② 治験実施医療機関とパートナー医療機関等の連携促進
- ③ 日本の症例集積の現在地と国の動き
- ④ 二本柱のHow：パートナー医療機関活用 × 紹介スキーム
- ⑤ 課題・克服ポイントのオープンディスカッション（Q&A含む）
- ⑥ クロージング